

# 令和5年度 第4回苫小牧市社会教育委員会議 会議録

日 時：令和6年3月25日（月）午後1時30分～午後2時30分  
場 所：苫小牧市役所第二庁舎 2階 北会議室

出席委員 藤島議長、今田委員、植田委員、柴田（知）委員、柴田（都）委員、東委員、  
（6名）

欠席委員 北岸副議長、池田委員、坂木委員（3名）

事 務 局 教育委員会：園田教育部長

生涯学習課：河本課長、斉藤課長補佐、仲世古主任主事

---

開 会 （進行）河本生涯学習課長

挨 拶 藤島社会教育委員会議長

1 議 事 （進行）藤島議長

（1）第六次生涯学習推進基本計画に基づく取組状況報告

※資料に基づき、事務局（斉藤課長補佐）より説明

（2）その他

・第五次子どもの読書活動推進計画について

※事務局（仲世古主任主事）より報告

・令和6年度（2024年度）教育行政執行方針について

※事務局（河本課長）より説明

・第六次生涯学習推進基本計画に基づく取組状況報告について

<質疑の内容>

○藤島議長 事務局の説明で、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

○委 員 この計画の中身ではないですが、最近、指定管理者による不祥事というか、そういうのが発生しているということなので新聞でも取り上げられて、もし1つの施設でこういうことがあって指名にならなかった場合に、他に請け負っている施設、かなり多くの施設に関係する場合、私が活動している文化交流センターが例ですが、その内容については団体である我々に何も報告がないんですよね。ある人から指定管理者が変わるんだねって。それで体制大丈夫なのかなと。あちらの施設では人が足りなかった。こちらの施設では何

も影響がなく、むしろ団体としては評価していた状況だったが、今後もそういう風に何かあれば全部そういう方向に向かうのかというのが1点。それからもう1つ、図書館のこともあって、司書が仕様書の基準どおり配置されていないんでないかと。そのとおりだと議会で答弁があったみたいで、もともと指定管理者になるにあたって、きちっとやりますと言って契約を結んでいたと思いますが、司書が配置されない理由。それからもう1つ、科学センター、施設がかなり古いですよね。私もよく孫を連れてプラネタリウム見学に行っていますが、展示もほとんど同じもので中身もほとんど変わっていない、むしろミール館は世界に1つしかない。今後の改築計画は。最近、室蘭とか、札幌とか青少年に関わる施設がどんどん改築されたり、リニューアルされているんですね。苫小牧市においても将来的な計画がある場合は良いと思うんですが、市民会館がなくなって、市民ホールの敷地内には科学センターが残るんですが、その後の方向性で何か示せるものがあればお聞きしたい。

○事務局 まず、指定管理の更新についてですが、今回、指名停止のタイミングと時期が重なってしまったということがありますが、新しい業者さんとなりました。これは指名停止でなくても2社・3社と複数出てくる場合もあるかと思しますので、変更となる可能性はあろうかと思えます。それで、今考えているのは、新年度より指定管理者が変わって新体制となったあと、あらためて文化交流センターサークル連盟の皆さんと顔合わせして、説明する場を設けようということになっています。ただ、指定管理の更新の部分、あくまでも事務に則って市で進めているということで、今回のケースというのはたまたま、また、更新にあたってはより良い業者さんが出てきた場合は、変わることもあろうかと思えます。今回、指定管理者になって初めて変わるということがありますので、4月以降のサークル連盟との話し合いの中で、今後どのようにしていくかというところは、ご意見を聞いてということであろうと思えます。それと図書館の司書の部分ですが、仕様書の中身で充たされていなかったというところで、まず、図書館で何人配置しなければならないということではないということをご理解いただきたいところですが、苫小牧市としては、司書率というものを全体の図書館の職員の6割を常に配置していただきたいということで、仕様書に記載しているところですが、ただ、職員数が少なくなっていますね、そこの対応をしているときに、司書資格者以外の人が増えて6割を切ったという状況が去年から続いていたということですが、今、内部の育成と、それから新しく採用、4月に採用者2名、それと内部で司書資格を取得する方が2名出てくるということで、今のところ4月には何とか仕様書の約束のとおり充たされる予定であるということは聞いております。

○園田部長 私から。科学センターにつきましては、平成30年位から老朽化に伴って、

あり方を検討しているところです。それで、現在検討中ですが、候補を1つ挙げるとするならば、駅前の再開発に伴って、その整理がかかれば、そこも1つの選択肢として、移転改築も考えている。ただ、他の施設のところに科学センターを移転するか、他のところに新しく科学センターを建てるかというところについては、現在も検討中ということでございます。

○藤島議長 今の科学センターのところよろしいですか。新聞にも駅前のこと載っていましたが、今使っている天体望遠鏡をどうするのか。新しいものにするのか、別のものにするのかということは決まっていないということですね。

○園田部長 そこも移転先をどうするのか、改築・移転するのによっても変わってくる部分なのかなと思っています。

○藤島議長 もしですね、駅前に移転するというのであれば、街の灯りが明るすぎるので、天体望遠鏡は、地球の近くの惑星ぐらい見えないといけないんですが、旭川なんかは昼間でも見える望遠鏡を設置しているので、もし駅前にもっていくということであれば、そのようなところを検討するのと、それでは天体望遠鏡、別の場所に置いてはどうかということもあるかと思いますが、そうすると札幌のように準備するのにすごく時間がかかるんですね。そうすると使わなくなってしまうので、その辺の問題、色々と検討するかと思いますが、現在は小さいものしか使っていないようですので、そういうところも検討して、場所と望遠鏡どうするのか、それ最大の問題点だと思うんですね、僕は科学センターで初めて月を見たんですけど、とても感動したので、科学の興味の入り口として、こういうのを無くしてはいけないと思うので、お願いしたいと思います。

○園田部長 検討材料とさせていただきます。

○委 員 参考までに聞きたいんだけど、赤ちゃん・絵本のとびら事業って0歳児からしているということですが、苫小牧は下降線なんではないかな。要するに0歳児が減っているのかということで、出生率。

○園田部長 減っています。

○事務局 ただ、ここで記載している印に書いているとおり、今までは集団接種会場で配布できたので、赤ちゃんが集まる場所がありましたが、無くなってしまって個別対応となったので、引き換え率が少し下がってしまったと。親御さんに会えなくなってしまったので、それが今の課題になっています。どうやって引き換えてもらうかというのが課題です。前はBCGの集団接種があったので、その会場に行くところほとんどがお会いできましたが、今後も保健師さんとかにご協力いただいてどうしていくかというところです。

・第五次子どもの読書活動推進計画について

<質疑の内容>

- 委員 非常に素晴らしい計画が出来上がったと思っておりますが、計画どおり進められるかは予算だと思うんですね。市の考え・市教委の考えが分かるのは予算だと思います。その年の重点を置いて、この計画は令和6年から令和10年までですので、その期間で実施計画みたいな、重点的にやる施策なんかを公表、発表してもよいと思うんですね。これは要望とします。
- 藤島議長 子どもの読書活動でなく、戻ってすいませんが、生涯学習推進基本計画のブリックコメント、何件かありましたよね。気になっているところがあって、2番目のところで、文化・芸術に関わる人材の育成と活用とありまして、ここで書かれているもので具体的なものはありますか。
- 事務局 一応回答で、右側に記載してありますが、例えばアーティストバンクで、市としては活動している方、登録していただいて、活躍の場を作っていて、例えば学校とか幼稚園などへ派遣してしまっていて、そういったアーティストの方の技術、育成もできるのかなということで、このときは回答したんですけども、なかなか社会教育の方での指導者の育成となると、学校と違って、色々ジャンルもあってなかなか難しいと考えていますが、今のところではアーティストバンクやアウトリーチなどを活用したものを、生涯学習課ではできる範囲となるのかと考えています。
- 藤島議長 先ほどのプログラミング、D評価となっているということですが、まさにここに入っていると思うんですね。・・・（聞き取り不能）人材育成するという分野が1つあっても良いのではと。どういうやり方がよいのかわかりませんが、講師となり得る方をピックアップして、その方を1人だけじゃなくて、色々な分野に仕掛けて作っていく。そうでもしないとますます少なくなってしまうような。・・・（聞き取り不能）
- 事務局 育成の方法、何がベストなのかと、非常に難しいと感じているところではありますが、今お話しがあったプログラミングのような場合、技術者の中でできる方を探してきて、子どもとかに教えてもらう場を作っていくことが必要なのかと、ご意見を聞きながら。
- 藤島議長 人材を育ててほしい。
- 事務局 ゼロからなのか、ある程度できる人を探して育てるとか、色々あると思いますが、育成の方法、どのようなことがよいのか。まず誰が教えるのか、育成機関みたいなのがあれば研修に行ってもらおうとか、通信教育とかで研鑽してもらおうとかの仕組みを作るとか、いくつか考えられると思いますが、この部分は考えていけないといけない部分かと思っております。

・令和6年度（2024年度）教育行政執行方針について

<質疑の内容>

○藤島議長 苫小牧にフリースクールはどの位ありますか。

○園田部長 今3つあります。

○藤島議長 どのようなことをしていますか。

○園田部長 民間が運営しているもので、民間によっても特色があります。私が3つと申し上げたのは、そのフリースクールに通うと出席扱いになるというところが3つです。それ以外のところでも、2つぐらいあります。ただ、この2つというのは、子どもの居場所作りのためといったところで、学習するためのものではないといったところです。今申し上げたとおりですね、民間が運営していますので、色々な考え方によって教えることも違うんですが、そこに行って一定程度学習ということきちっとしてもらおうという形にはなっていません。

○藤島議長 数的に足りているのですか。3つで。

○園田部長 数的には、最近民間で運営しただしたので、少ないですが、市にも教育支援センター3つあります。中央と東と西ぐらいにありますけど、そこもですね、当初は数人程度しか通っていないところもありましたが、東側のトピリカ学級というのがあって、そこは今年度については、20人以上の生徒が通っている状況です。

○藤島議長 不登校の子どもたちが全国的にも増えていると言われていますが、大分の方のフリースクールに呼ばれて行ったら、子どもたちが真剣に、和気あいあいと発言している。学校とは違う雰囲気だと。すごくよかったと。話しか聞いていないのでわかりませんが、どなたか知っている方いれば。

○園田部長 子どもたちにとってはまずは、不登校の原因さまざまあると思いますが、まずは居場所、今まではそういった居場所がなかったので、どうしても自宅に、言葉はあれですが、引きこもってしまうようなケースが多かったですが、そういう居場所ができれば今議長がおっしゃられたようにフリースクールに行くとか、もちろん札幌とかにもフリースクールがあるので、生徒さんによっては札幌まで通っている方もいます。ごく少数ですが。まずはそういう居場所ができて、そこで人間関係とかコミュニケーションが取れて、やはり学校の方に戻ってもらえればと思っております。

○藤島議長 苫小牧は不登校の子どもが増えているのでしょうか。

○園田部長 令和4年度では493人です。それで今速報値で令和6年1月時点で500人位になっていますので、超えていますので、増えていっているのは間違えないです。

○藤島議長 居場所作り考えていってもらえないと。

- 委員 どころが成功しているということは調べたことはないですが、お金をかけてですね、フリースクールを応援すると言ってはおかしいですが、良い先生をそこにあてるとか、そういう方向を出さない限り、学校の中にもそういった人材を、お金かけてやらないと根本的な解決にならないのではと思うんですよね。民間だけでどうだといっただけでは解決しにくいのでは。500人もいるというのは大変なことですよ。ただ、苫小牧だけが多いわけではないですよ。全国的な話ですよ。
- 藤島議長 例えば、これから計画される科学館とか、そういうところの一角に、フリースクールは難しいと思うけど、それみたいなもの併設できないのか。
- 委員 場所・人材も含めて、小中学生の居場所作りも、社会教育委員で提言できれば。

閉会 14:30